

令和5年度 信学会上田南幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

より良い園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づき園で取りまとめた自己評価です。

1. 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動「歩育」・「運動遊び」を通じ、「戸外で元気よく体を動かして大勢の友だちと遊ぶことが好きな子を育てます」

- ①お友だちと元気に遊ぶことで、大勢の友だちと関わる機会を増やす
- ②笑顔で大きな声であいさつすることで、コミュニケーション力を高める
- ③夢中になることで集中力・意欲を高め、あきらめないで最後まで頑張れる力をつけます
- ④学年を超えて接することで思いやりの気持ちを育てます
- ⑤体を動かすことで生活リズムの基本を作り1日の生活の安定をはかります

2. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

3. 園長より本年度の取り組みについて

- ・コロナも5類へと変更になり、子どもたちが一堂に会しての様々な行事を行えるようになった。全員が集まる行事は活気があり、子どもたちも今まで以上に楽しそうである。
しかし、インフルエンザや溶連菌などの感染症とコロナ感染も発生している状況なので、感染対策は今まで以上に気を付けて園運営に取り組みたい。
- ・社会的に様々な事件が起こり心配ではあるが、保護者が安心して子どもたちを預けられるよう、対策や情報の発信をしっかりと行うことが大切と思う。園バスの乗り落とし防止装置は設置済み。
- ・コロナ禍前のような園外保育が実施できたので、園の方針でもある「歩育」に力を入れて取り組むことが出来た。「歩育」を中心に据えた、体づくり、自然との関わりなど、今後も継続していきたい。